

先週は召天者記念礼拝でしたので詩篇90篇を学びました。今日はピリピ人への手紙の学びにもどります。

1. 私の身に起こったこと (1章12節)

- ①兄弟たち 「兄弟姉妹」という言い方は教会独特の言い回しで、教会に来たばかりの方は違和感を持つ場合があります。ここでパウロは「兄弟たち」と呼びかけていますが、言うまでもなく主にある兄弟という意味です。あまりこの言い回しが好きでない方も、使い方次第では良いものです。
- ②私の身に起こったこと パウロはピリピにいた時にも収監されたことがあります。ルデヤ一家にバプテスマを授けた後に、占いをする奴隷女の悪しき霊を追い出したのです。その女によって利益を得ていた主人は怒って、パウロを官憲に引き渡し、牢に収監されることになってしまったのです(使徒16:16～)。今回はまた違った場所で獄中にあり、書簡を書いているのです。
- ③福音を前進させることに パウロの身のの上に起きたことは、地上的には喜ばしいことではありません。しかし、結果的にはそのことが用いられて、福音が前進していることをパウロはピリピの教会の人々に訴えているのです。ピリピの獄中にあったときには、看守一家が救われてバプテスマを受けました。マイナスがプラスへと転じることをパウロはここで述べているのです。

2. キリストのゆえに (1章13節)

- ①キリストのゆえに投獄 パウロが投獄されたのは、キリスト信仰のためなのだということをクリスチャンでない人々も認めていたのです。かつて、ピリピの獄中において、パウロとシラスは全く否定的ではありませんでした。主を賛美しつつ、他の囚人達にも良い影響を与えていたのです。今回もきっと同じようなことが起きていたのではないのでしょうか。
- ②親衛隊の全員 「親衛隊の全員」については、口語訳も新共同訳も「兵営全体」と訳しています。元々はローマ皇帝の親衛隊の兵舎を意味していましたが、後には地方総督、ヘロデ、ピラトの官邸についても用いられている語です。新改訳も脚注で「総督官邸」と記しています。
- ③その他のすべての人 いったいどの範囲の人々のことを指しているのかがよくわかりませんが、相当広い範囲の人々が、パウロたちがキリスト信仰のゆえに投獄されているということを認めていたのです。イエス・キリストが逮捕された時に、ピラトが「この人に罪は認められない」と明言しました。パウロ達についても、これといった罪状は認められなかったのに、投獄されていることを多くの人々が知っていたのでしょう。

3. 投獄で確信を (1章14節)

- ①兄弟たちの大多数 ここで言う「兄弟たち」というのは、パウロの獄中近くのクリスチャンがまずあげられます。さらに、様々な便りによって伝えられてくる他の地域のクリスチャンたちをも含むことでありましょう。パウロの投獄を否定的にはではなく、むしろ肯定的にとっていたのです。
- ②パウロの投獄で確信を与えられ 人間的に言えば、大指導者であるパウロが投獄されたことはマイナスであっても、それがむしろ「主にあつて確信が与えられ」とあり、プラスになっているのです。場合によっては、がっかりしてしまい、信仰すらなくすかもしれないそんななかで、確信へと導かれたのです。
- ③恐れずに神のこぼを語る 当時の時代背景から言えば、神の言葉を語ることや福音を伝えるには勇気が必要でした。場合によっては迫害があるからです。ところが、彼らは恐れずにますますもって大胆に語っていたのです。

《結論》 初代教会の時代の福音の伝播については、「燎原の火のごとく」という表現が使われることがあります。彼らの信仰は迫害がある中で、ますます強くなっていったので、ローマ帝国ですらその火を消すことができなかつたのです。その秘密の一端が今朝の聖書箇所にあります。パウロが投獄されたのに、クリスチャンたちの信仰はどうして弱くならなかつたのでしょうか。それどころかその信仰が強くなっていったのはなぜでしょうか。ここに福音の秘密があります。「私の身に起こったこと」というのは投獄というマイナスの出来事です。ところが、これがプラスのことに転じていることをパウロははっきりと認めているのです。

「私の身に起こったこと」というのは、誰であっても生きている限りは、自分としては受け入れにくいことが起きてきます。私自身も病を得て、この身に起こっていることが受け入れられない側面があります。しかし、このことはキリストのゆえに起きているのだと信じた。このことを通して、私自身も教会も新しい何かを得ることになるのだということを覚えてほしいのです。マイナスと思われることが、プラスへと転化していくのだと信じたのです。いやすでにことは起きているのです。もし、私自身が祈りにおいて成長するなら、それはプラスです。教会も祈りをするということにおいて心を合わせることを学ぶなら大いなるプラスです。(Ⅱコリント12:10)。「身に起こった」マイナスと思えることは、現実であるがゆえにつらい。でもだからこそ、それに反比例するかのよう想像を越えたプラスが与えられる。今、あなたのうちに起こっていることで、人にもいえない、マイナスのこと。それこそがすばらしいプラスへと転じるのです。そうしてくださる主を信じていきましょう。